

武雄警察署協議会開催結果の概要

令和7年12月23日

会議	令和7年度 第2回 武雄警察署協議会			
開催日時	令和7年12月9日（火） 15：30～16：30			
開催場所	武雄警察署 会議室			
出席者	<input type="radio"/> 協議会：会長以下4名 <input type="radio"/> 警察署：署長以下10名			
計 14名				
議事概要				
1 開会				
2 会長挨拶				
先日、佐賀県立宇宙科学館において行われたテロ対処訓練を視察させていただいた。警察、消防、宇宙科学館の職員が連携して対応に当たる姿は、本当に力強いと感じた。				
良好な治安は、住みよいまちづくりの根幹であり、これを維持・向上させるためには、地域社会が、警察や自治体など関係機関が連携し、様々な活動を継続的に行うなど、それぞれが力を発揮してこそ実現できるものと考えている。				
本日は、今年一年を締めくくり、委員の皆様方の地域が抱える問題や御意見等を賜り、警察と地域社会の連携にいくばかりかでも力になることが出来ればと考えているので、よろしくお願ひしたい。				
3 署長挨拶				
当署管内の詳しい治安情勢については、この後、担当課長が説明をするが、これまでのところ比較的平穏に推移している。				
交通事故の件数は減少しており、死亡事故も0件となっている。				
県内で死亡事故が0件なのは、武雄署と神埼署の2署だけとなっているが、この後も1年間0件を目指してしっかりと取り組んでいく。				
これから年末にかけて人や車の動きが活発になってくると考えられる。当然、事件・事故の増加が懸念される。引き続き、警戒と取締りを強化していく。				
本日は、市民の代表である委員の皆様の忌憚のないご意見・ご要望をいただいて、武雄市の治安をより良きものにしていきたいと考えているので、よろしくお願ひする。				
4 答申				
本年度第1回協議会で諮問された「効果的な施錠推進方策」について、下記のとおり答申を行った。				

(1) 施錠を呼び掛ける音声機の設置

県内の他の駅では、自転車利用者が駐輪する際、利用者の動きをセンサーで感知して、「施錠をお願いします」などの音声が流れる機械を設置しているところもある。

設置には費用がかかると思うが、音声により注意喚起すれば、施錠率の向上につながると考える。

(2) 被害に遭わない工夫を促す広報

自転車の盗難防止対策として、自宅に駐輪する際は、屋内保管を推奨し、屋外で駐輪する際は、柵等の動かせない物に結束するなど、「被害に遭わない工夫」について、広報することが被害防止につながると考える。

(3) 様々な機会を捉えた防犯の意識付け

防犯意識を高めるためには、各年代に応じた意識付けが極めて重要と考える。

幼少者には防犯教室の開催、中高校生とその保護者に対しては学校行事や地域行事、成人の方には、現在も行われている防災無線での広報等様々な機会を捉えた防犯への意識付けが重要であると考える。

(4) お互いにチェックし合う習慣づくり

家族や地域の人とお互いに「家の鍵は閉めてきたね」などとチェックし合えるコミュニケーションをとることが重要であると考える。

いずれにせよ、効果的な施錠推進方策は、繰り返し続けることが大事だと考える。

5 協議

(1) 業務概況の説明

- ア 警務課長：採用募集状況、リクルート活動の実施状況、犯罪被害者支援ネットワーク会議の開催
- イ 会計課長：拾得届の受理状況、武雄警察署庁舎の整備状況
- ウ 生安課長：特別法犯検挙状況、ニセ電話詐欺等の被害の現状、犯罪抑止活動
- エ 刑事課長：刑法犯の認知・検挙状況、罪種別の主な検挙事例
- オ 地域課長：地域警察職務執行能力強化対策「Young cop boost（若手警察官の底上げ）プログラム」について
- カ 交通課長：交通事故発生状況、妨害運転の取締り状況、自転車に対する交通指導取締りについて
- キ 警備課長：テロ対策の推進、災害対策の推進

(2) 質疑応答・要望等

委員： 宇宙科学館でのテロ対策訓練を視察したが、防護服を来た者の動きが緩慢で、もっと機敏に動いてほしいと感じた。

警察： 生化学防護服は、汚染された空気に接触しないよう、空気呼吸器等の重い資機材を装着している。現在は外国製の防護服を使用しているが、今後、改良される余地はあると感じる。

委員： 下西山に住む一人暮らしの女性から、「JAの職員から『生命保険の受取人を息子だけではなく、本人にもした方がお得です』と電話があった。」との相談を受け、私がJAに確認したところ、確かに同内容の電話を行っていた。

電話だけでお金の話をしないようにと申し入れたが、高齢者たちは、「電話でのお金の話は詐欺を疑え」と言われており、敏感

になっている。

警察： 同様に警察官が自宅を訪問した際、「本当に警察官だったのか。」と確認の電話や通報がなされることがある。詐欺被害防止のためにも、警戒の意識を高めるのは良いことだと感じる。

委員： 西川登町のメルヘン村付近から高速道の高架付近まで、50kmの速度規制がなされているが、下り坂でかなりのスピードを出している車が多い。40km規制への変更はできないだろうか。

警察： 先日、西川登の町づくり協議会から市役所を通じて、警察の方へ同所付近の速度規制変更の要請があった。現場の交通状況や交通事故の発生状況等を勘案しながら検討をはじめており、本日の意見も、地元の声として、判断材料の一つとしたい。

委員： 横断歩道の道路標示が消えかかっているところが散見される。特に信号機がない場所の横断歩道は気づきにくいので、標示をはっきりとしてほしい。

また、市道では一時停止線が消えかかっている場所が多く、市役所にも働きかけているが、手が回っていないようである。パトロールの際などにチェックしてもらえばと思う。

警察： 警察でも標示の摩耗等の調査を実施している。重複しても構わないでの、明瞭でない場所があれば、警察に連絡してほしい。

委員： 武雄市報12月号に生活安全課長による詐欺被害防止に関する記事と交通課長による交通事故防止の記事が掲載されていたが、被害に遭わないポイント等が書かれており、目で見て分かり易かつたので、同様の広報の継続をお願いする。

委員： 本日説明をしてもらった16歳以上の自転車違反の青切符導入や生活道路の時速30kmの規制等については、県や市と連携を図りながら、早めに情報を発信し、市民への周知を図ってほしい。

委員： 国際電話不取扱などの詐欺被害防止に関しては、携帯電話ショップへの広報ポスターの掲示も進めてほしい。

また、4月からの自転車違反への青切符導入については、中高生が対象になると思われる。チラシ配布だけでなく、インスタグラム等のSNSを活用するなど、若者の目に届くよう、広報の在り方についても目先を変えて取り組んでほしい。

警察： 様々なご意見ありがとうございます。ご意見を参考に今後の取組に活かしていきます。

6 その他

次回開催は令和8年2月中を予定

7 閉会